

地元からの聞き取り 要旨
【発災時の状況等について】

■崩落箇所の状況について

【農道施工前の状況】

- ・過去地すべりが起こったことはない。
- ・畑や石垣（①）からの湧水はなかった。
- ・家の前の石垣や切りたった赤土の崖、戦時中に掘った防空壕も崩れたことがない。

【農道施工後の状況】

- ・盛土（補強土壁）施工後、雨が降ると広域農道南側の埋め立てた平地（②）がドロドロになって10日ほど水が抜けなかった。
- ・平成27年度に盛土部にクラック（③、道路方向、深さ2m、延長15m程度）発生。転圧し直し、地山と盛土部の境にU字溝を設置したにも関わらず、平成28年4月には広範囲に水が溜まっていた。
- ・広域農道南側の埋め立てた平地の周りに設置したU字溝は傾斜がない。
- ・農道建設中の盛土について、ローラーで締め固めを行っていたが、その後歩くと足跡が残った。
- ・もともと谷合の水を流す溝はなかったが、農道建設にあたり、谷合の水を抜くことをせず盛土を施工した。

【災害当日の状況】

- ・崩落部東側住宅横の水路（④）も溢れ、下の池が満水になった。（16：30頃～）次に広域農道を確認に行ったが、広域農道の2か所で、法面が崩れていた。また、今回崩落した箇所の広域農道南側の平地（②）は、プールのように水がたまっており、U字溝も天端までとはいかないが水が溜まっていた。
- ・崩落した時、3回ほど聞いたことがないような低い音がした。（20：11頃）1回目が大きく、2回目、3回目は小さかった。1回目と2回目の間隔は「あ！またか」と思うくらいの時間は空いていた。

■崩落箇所東側の盛土（補強土壁）箇所について

【農道施工前の状況】

- ・家屋裏の石垣、畑で湧水があった。昔は、その湧水を利用していた。計画当初より湧き水があると何度も言っていた。

【盛土施工後の状況】

- ・ 盛土施工以降、大雨が降ると、家の横の排水路(④)が溢れる。
家の横の排水路は、盛土（補強土壁）工事の際に今回崩落した箇所の排水（別の沢）もつないでいる。
- ・ 盛土（補強土壁）の工事施工後、雨が降ると広域農道より下流の水路が溢れ、濁り水が出ている。

【被災後の状況】

- ・ 大雨が降ると家屋周辺の石垣、畑(⑤)から湧水が噴き出し、普段は 5 日ほど乾くが、台風 21 号（10 月 22 日）の後は、2～3 週間ほどかかった。

○聞き取り情報の位置図(発災時の状況等について)



地元からの聞き取り 要旨

【要望事項】

【地元要望】

- ・第1回の調査検討会での資料を頂きたい。
- ・補償や、応急対策工事、今後の対策工事等において調査検討会の結果を受けて、県の判断とのことだが、悠長なことを言わず早く対応してほしい。
- ・知事と直接話をしたいので場を設けてほしい。
- ・調査検討会の結果が出れば、それがすべてとなるのか、調査検討会の結果について意見を言える場を設けてほしい。
- ・今回の崩落箇所東側の盛土（補強土壁）について、その下に家があり、現在避難しているが、今後、安心して生活できるように、盛土（補強土壁）を撤去して橋にしてほしい。
- ・盛土（補強土壁）の工事の際に、今回崩落した箇所の排水も家の横の排水路につないでいる。復旧する際は、別の系統で排水してほしい。
- ・広域農道が整備され、降雨時に下流の排水路で溢れる。下流の排水路を整備してから広域農道を整備してほしい。
- ・倒壊した家屋の撤去を県で行ってほしい。
- ・崩落箇所下流に排水路がなかったため、崩落箇所の排水（西の沢の水）も東側の排水路（東の沢）に流しているが、流さないで欲しい。
- ・今回崩落箇所にも排水路を整備してほしい。

【地元意見】

- ・崩落があった箇所の広域農道南側の平地で、施工時に暗渠配管を入れてほしいとお願いしたが、入れてくれなかった。
- ・崩落箇所東側の盛土工事中に何度も暗渠管を入れないのかと聞いたが、入れなかった。計画当初から、水が湧くと度々言った。
- ・調査検討会に参加できない、資料を見ることができない、県の中だけで行って、県の思惑通り進んでいるのではないかと、疑念がある。
- ・今後工事を行う際は、地元住民（近隣住民）の意見を聞いてから工事を行ってほしい。